

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅱ 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組
教科担当者：（A群①組：時田）（E群②組：時田）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）
使用教科書：（ 音楽ⅡTutti+ ）
教科 芸術 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 創意工夫を生かしたより高度な音楽表現のために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作で表現する。
【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作る要素について知覚し、感受したこととの関わりを考えて表現する力を向上する。
【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、より深い表現を追求する。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や音楽の多様性についてより深く理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を向上させる。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、様々な要素を踏まえて音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創	鑑 賞					
1 学 期	オリエンテーション	・一年間の授業の流れや試験についての説明									
	ソルフェージュ 【知識及び技能】 楽譜に記載された内容を正確に理解し、表現に生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 拍子や音階等の要素を踏まえ、表現力を高めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容を理解した上で、主体的に活動に取り組むことができる。	・記譜、聴音、リズム打ち、音階、拍子、和音、音程、速度記号、表現記号、反復記号等 ・教材 プリント	○			○	【知識・技能】 記号や楽譜上のルールを理解している。 【思考・判断・表現】 要点を把握し、楽曲の中でどのように表現するか工夫が見られる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習した内容を理解し、曲の特徴を感じ、主体的に表現しようとしている。	○	○	○	10
	小テスト		○					○		○	1
	器楽(独奏・重奏・合奏) 「自由課題への取り組み」 【知識及び技能】 個人あるいはグループで、発表に向けての演奏技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の持つ良さや美しさを生かしつつ、個性を生かした表現を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループでコミュニケーションをとりながら、練習を進めることができる。	・楽譜の理解 ・基本奏法の理解 ・難易度別の課題の設定 ・アンサンブル力の向上 ・テンポキープ ・強弱表現 ・教材 ギター、キーボード、譜面台、プリント等				○	【知識・技能】 基本奏法を習得し、正しい音とリズムで演奏することができる。 【思考・判断・表現】 曲の特徴を感じ取り、表現を工夫したり、より良いアンサンブルへの工夫が見られる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して取り組み、より良い音への探求をしようとしている。	○	○	○	15
	実技発表			○				○	○	○	2
2 学 期	歌唱(独唱・重唱・合唱) 「自由課題への取り組み」 【知識及び技能】 個人あるいはグループで、発表に向けての歌唱技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の持つ良さや美しさを生かしつつ、個性を生かした表現や発声等を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループでコミュニケーションをとりながら、練習を進めることができる。	・楽譜の理解 ・音程と発音 ・発声法 ・伴奏との関わり ・強弱表現 ・他声部との関わり ・教材 キーボード、プリント、譜面台等				○	【知識・技能】 正しい音とリズムで歌唱し、自分の声を生かした豊かな発声で歌唱することができる。 【思考・判断・表現】 曲の特徴を感じ取り、表現を工夫したり、より良いアンサンブルへの工夫が見られる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して取り組み、より良い音への探求をしようとしている。	○	○	○	10
	実技発表		○					○	○	○	2

[illegible]